

令和4年度事業報告書

令和 4年 4月 1日から 令和 5年 3月31日まで

特定非営利活動法人 三保の杜作業所

理事長 吉田 宗浩

1 事業の成果

就労継続支援 A 型事業

作業内容

- ① 耕作作業班 4名 (小ねぎの栽培管理作業:体力を要する外作業)
- ② ねぎ調整作業 17名 (小ねぎの調整仕分けの手作業:屋内作業)
- ③ 野菜加工作業 随時 (乾燥野菜などの加工品及びカットネギ:屋内作業)
- ④ 施設外就労 随時 3~7名 (大分県農協の運営する調整場にて小ねぎの調整作業)
(季節に応じて近隣の草刈り作業)
- ⑤ ピーマン栽培出荷 5名 (4月~11月ピーマン栽培)

- ① 事業の要である小ねぎの生産は、今年も目標出荷ケース数(12,000)を達成するに至りませんでした。その理由として、昨年の 8 月と今年の 1 月にコロナ感染による就労時間減など、多くの外的要因による影響が甚大でした。また、台風による被害でビニール張替え(7 棟)作業や草取りが追いつかず外部に作業委託するなどの余分な経費も掛かりました。
年間を通して安定した出荷はある程度出来ましたが収量及び秀品率は、まだまだ改善の余地は沢山あります。元農協職員をアドバイザーとして迎え、経営面などのアドバイスを受けながら、連作障害を克服するための土壌改良や栽培技術など、生産量と秀品率の向上に向けて取り組んできました。
- ② ねぎの調整作業に関しては、新しい職員を迎え、利用者さんとのコミュニケーションを計りながら調整作業から箱詰めまでを担当してもらいました。当初は人数が減少し農繁期に人手が足りず作業委託などして対応しましたが、新規の利用者さんも加入し(新規 4 名内 1 名が外班)活気を取り戻しましたが、1 名が直ぐに精神的な体調を理由に退職しました。まだまだ、作業レベルが A 型に至らない利用者さんも多く、職員が付きっきりで指導するなどして対応しています。
- ③ 野菜加工作業は、今期も乾燥野菜の出荷数が目減りし、売り上げも減少してしまいました。主力の小ねぎの生産出荷に力を入れたためと、新規事業のピーマン栽培に人手が流出したのが原因です。効率よく人員を配置できませんでした。
- ④ 施設外就労は一般就労に近い訓練なので、一定のレベルに達したスキルの高い利用者さんが従事しています。利用者さんの一般就労に向けたスキルアップに必要な経験を習得するべく年間を通して大分県農協と連携して強化してきました。
- ⑤ 新規事業でパイパス上のハウス 2 棟をピーマン栽培に転作しました。小ねぎを作るには水捌

けが非常に悪く、良いネギを栽培しにくかったのが原因です。今年度 2 期目の試みでしたが、前年の収穫終了後より水捌けの改良工事に取り掛かり、今季作付け前に完了したことで、随分と改善されました。今年度は高温による障害や病気が蔓延し他の生産者は収穫できないほどの状況になりましたが、幸いにも当農園では昨年以上の収益を上げることが出来ました。収穫から出荷の箱詰め作業まで非常にスムーズになりましたが、ピーマンの管理に想像以上に職員への負担がかかりました。小ねぎの収穫量減少時の作業確保・就労時間維持には有効に役立ちましたが、問題点も多く改善の余地がありました。

今年度、新型コロナウイルス感染状況について、昨年度に続き令和 4 年 8 月 8 日に利用者さん 2 名、翌日に 3 名の感染が確認され、県・市・保健所等の指導の下、感染拡大に細心の注意を払いながら、利用時間短縮(昼食を摂らずに帰宅)等に取り組み、その状況を乗り切ることが出来ました。しかし、その後も単発的に感染者が出て、年明けに職員 1 名と利用者さん 2 名の感染が判明しました。感染者のみならず濃厚接触者の待機期間も含め、長期離脱での収入減は甚大なものでした。

A 型等福祉就労分野では、生産性の向上、質の高い働き方の実現、安定した収入の確保が求められる中、収益アップが必然となりますが、スキルの高い戦力となる利用者さんは早期に一般就労に移行する傾向にあります。まだまだサポートを必要とする利用者さんだけでは収益アップは厳しい状況です。

しかしながら国は、昨今の経済状況の中で、毎年最低賃金を引き上げるなど中小企業の経営を圧迫し続けています。コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻などによる農業資材のコストアップなどで、更に経営を逼迫させられた年度でした。

また、令和 4 年 3 月に職員を 1 名新規採用し、昨年度に続き職員体制を充実させ、更なる組織固めに重点を置き、将来を見据えた職員教育や変化に対応できる組織づくりを目指してきました。積極的に障害の理解についての研修会(リモート等)にも参加を致しました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	①就労継続支援 A 型 ②生活共同援助	通年 実施せず	作業所及び圃場	6 人	障害者 20 人
高齢者や一般就労に困難な状態にある人への就労支援事業	実施せず				

令和4年度 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 三保の杜作業所
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	78,000	
賛助会員受取会費	20,000	98,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	0	
施設等受入評価益	0	0
3. 受取助成金等		
受取国庫補助金	4,452,000	
受取民間助成金	0	4,452,000
4. 事業収益		
障害者自立支援法に基づく福祉サービス事業		
就労継続支援事業		
受託作業事業収益	10,965,386	
訓練等給付金	54,329,782	
利用者負担金収入	422,708	65,717,876
5. その他収益		
自動販売機収入	175,300	
受取利息・受取配当金	176	
大分労働局	1,600,000	
大分県福祉保険部	450,136	
その他	200,000	
雑収益		2,425,612
経常収益計		72,693,488
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
利用者賃金	24,370,145	
指導員等給与	22,126,400	
福利厚生費	659,491	
法定福利費	4,171,517	
人件費計	51,327,553	
(2) その他経費		
旅費交通費	367,566	
通信費	790,980	
業務委託費	4,265,730	
寄付金	24,170	
減価償却費	4,082,410	
接待交際費	165,582	
賃借料	3,527,500	
リース料	206,064	
保険料	826,550	
修繕費	537,025	
水道光熱費	727,826	
車両管理・燃料費	1,847,652	
消耗品費	728,667	
租税公課	254,450	
広告宣伝費	319,300	
諸会費	24,500	
図書教育費	794,000	
慶弔費	10,000	
支払利息	97,612	
雑費	409,920	
その他経費計	20,007,504	
事業費計		71,335,057

科目	金額		
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬			
給料手当	1,200,000		
法定福利費			
退職給付費用			
福利厚生費			
人件費計	1,200,000		
(2) その他経費			
旅費交通費	157,528		
支払手数料	18,040		
印刷費	72,382		
新聞図書費	42,505		
雑費	19,950		
その他経費計	310,405		
管理費計		1,510,405	
経常費用計			72,845,462
当期経常増減額			-151,974
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			-151,974
当期正味財産増減額			-151,974
前期繰越正味財産額			23,304,827
次期繰越正味財産額			23,152,853

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

令和4年度 貸借対照表

令和5年3月31日現在

((特非) 三保の杜作業所)

科目	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	81,636		
普通預金	3,261,971		
売掛金	10,238,039		
未収入金	1,111,365		
前払費用	54,010		
流動資産合計		14,747,021	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物	9,245,047		
建物附属設備	1,922,082		
構築物	5,638,851		
機械装置	523,668		
車両運搬具	6,057,439		
工具器具備品	418,929		
土地	3,392,000		
有形固定資産合計	27,198,016		
(2)投資その他の資産			
出資金	30,000		
保険積立金	5,249,631		
投資その他の資産合計	5,279,631		
固定資産合計		32,477,647	
資産合計			47,224,668
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	12,476,278		
未払金	4,390,069		
預り金	171,134		
流動負債合計		17,037,481	
2 固定負債			
長期借入金	6,876,000		
長期前受収益	158,334		
固定負債合計		7,034,334	
負債合計			24,071,815
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		23,304,827	
当期正味財産増減額		-151,974	
正味財産合計			23,152,853
負債及び正味財産合計			47,224,668

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

令和4年度 財産目録

令和5年3月31日現在

((特非) 三保の杜作業所)

科目	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	81,636	
普通預金 (大分銀行大貞支店)	666,910	
普通預金 (大分県農業協同組合)	441,827	
普通預金 (大分県信用組合)	2,153,234	
売掛金 (大分県国保連他)	10,238,039	
未収入金 (みやこの杜)	1,111,365	
前払費用 (リサイクル料金他)	54,010	
流動資産合計		14,747,021
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
建物 (増改築・屋根工事)		
大分県中津市大字伊藤田字奥屋敷1134番3	9,245,047	
建物付属設備 (電気設備・給排水設備)	1,922,082	
構築物 (駐車場舗装設備・看板)	5,638,851	
機械装置 (ネギ乾燥設備ライン他)	523,668	
車両運搬具 (軽トラック他)	6,057,439	
工具器具備品 (冷蔵庫他)	418,929	
土地		
大分県中津市大字伊藤田字奥屋敷1144番2、1145番2、1146番	3,392,000	
有形資産合計	27,198,016	
(2)投資その他の資産		
出資金		
大分県信用金庫	20,000	
日本ベネフィット協同組合	10,000	
保険積立金 (メットライフ生命保険)	5,249,631	
投資その他の資産合計	5,279,631	
固定資産合計		32,477,647
資産合計		47,224,668
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金 (吉田宗浩)	12,476,278	
未払金		
賃金・職員棒給	3,644,029	
北九州ダイハツ販売	154,700	
社会保険料	249,025	
その他	342,315	
預り金		
源泉所得税	-75,323	
社会保険料	246,457	
流動負債合計		17,037,481
2 固定負債		
長期借入金 (大分県信用組合)	6,876,000	
長期前受収益 (ジャパンビバレッジ)	158,334	
固定負債合計		7,034,334
負債合計		24,071,815
正味財産合計		23,152,853

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 全事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。